

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに  
 重点的取組 2 人をひきつけ、集まる、にぎわいをつくる

担当課名	建設部 廿日市駅北土地区画整理事務所		
予算科目	会計	46	廿日市駅北土地区画整理特別会計
	款	1	土地区画整理費
	項	1	土地区画整理費
	目	1	土地区画整理事業費

事業名	廿日市駅北土地区画整理事業	事業開始年度	平成 12 年度
	J R 廿日市駅周辺の都市基盤整備の推進（廿日市駅北土地区画整理事業）	根拠法令 条例 個別計画等	土地区画整理法 廿日市駅北土地区画整理施行条例

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	・ J R 廿日市駅北周辺を利用する人	・ 道路、公園等の公共施設の整備と宅地の利用の増進を図り、広島都市圏の副都心にふさわしい、魅力ある都市拠点の形成を目指す。 (工事完成は、平成26年度末を予定)

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	土地区画整理事業関係権利者	・ 換地計画及び仮換地指定・施行地区内における建築行為等の制限に関する事務・物件等の調査及び補償・廿日市駅北土地区画整理審議会に関する事務・調査計画及び設計施工、工事の監督監理

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の内容 造成工事について、第6工区の工事を実施した。（1.5ha） 工作物移転補償を実施した。（2件） 宅地の使用収益を開始した。（0.8ha）</li> <li>事業費関連 【歳入】 社会資本整備総合交付金 128,700,000 円 電線共同溝建設負担金 90,300 円 土地区画整理事業債（合併特例債他） 133,500,000 円 合計 262,290,300 円 【歳出】 普通設計監理等委託料 13,370,000 円 普通建設工事 256,510,694 円 補償金 13,016,177 円 事務費 1,062,426 円 合計 283,959,297 円</li> </ul>							
	コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
直接事業費 A		478,841,862	283,959,297	133,970,250	87,750,790			
財源内訳		国庫支出金	151,842,515	128,700,000	69,850,000	48,262,934		
		県支出金	17,514,307					
		借入金（市債）	221,800,000	133,500,000	59,200,000	37,500,000		
		その他(使用料など)	60,000,000	90,300				
		市（市税など）	27,685,040	21,668,997	4,920,250	1,987,856		
人件費(按分) B	4.63 人 40,614,360	4.31 人 36,574,660						
総事業費(A+B)	519,456,222	320,533,957						
単位コスト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人				117,680 人		
	② 市民1人当たり	4,402	2,724					
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考	
	活動	宅地完成面積（全77,564m <sup>2</sup> ）	m <sup>2</sup>	13,416	9,000	8,261	-	
		道路整備延長（全5,087m）	m	834	1,255	707	-	
	成果	事業進捗率（使用収益開始面積率）	%	76	87	93	100	
		事業進捗率（道路完成率）	%	78	93	97	100	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに  
 重点的取組 2 人をひきつけ、集まる、にぎわいをつくる

担当課名	建設部 廿日市駅北土地区画整理事務所		
予算科目	会計	46	廿日市駅北土地区画整理特別会計
	款	2	都市開発費
	項	1	都市開発費
	目	1	都市開発事業費

事業名	<b>都市開発事業</b>	事業開始年度	平成 12 年度
	J R 廿日市駅周辺の都市基盤整備の推進（廿日市駅北土地区画整理事業）	根拠法令 条例 個別計画等	土地区画整理法 廿日市駅北土地区画整理施行条例

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	・ J R 廿日市駅北周辺を利用する人	・ 道路、公園等の公共施設の整備と宅地の利用の増進を図り、広島都市圏の副都心にふさわしい、魅力ある都市拠点の形成を目指す。 (工事完成は、平成26年度末を予定)

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	土地区画整理事業関係権利者	・ 物件等の補償 ・ 宅地に関する調査業務、工事の監督監理

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	・ 事業の内容 造成工事について、第6工区の工事を実施した。（1.5ha） 工作物移転補償を実施した。（2件） 宅地の使用収益を開始した。（0.8ha）  事業費関連 【歳入】 都市開発事業債（地域開発事業債） 76,798,974 円 （長期債利子償還金（公営企業分）別途あり 1,501,026円）  【歳出】 普通設計監理等委託料 13,067,950 円 普通建設工事 27,927,306 円 普通建設工事負担金 31,358,902 円 補償金 4,193,866 円 事務費 250,950 円 合計 76,798,974 円							
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
財源内訳		直接事業費 A	156,156,118	76,798,974	5,300,000			
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金（市債）	99,059,418	76,798,974	5,300,000			
		その他(使用料など)	57,096,700					
市（市税など）								
人件費(按分) B	1.00 人 8,772,000	1.68 人 14,256,480						
総事業費(A+B)	164,928,118	91,055,454						
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人					
	② 市民1人当たり	1,398	774					
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	宅地完成面積（全77,564m <sup>2</sup> ）	m <sup>2</sup>	13,416	9,000	8,261	-	
		道路整備延長（全5,087m）	m	834	1,255	707	-	
	成果	事業進捗率（使用収益開始面積率）	%	76	87	93	100	
		事業進捗率（道路完成率）	%	78	93	97	100	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに  
 重点的取組 2 人をひきつけ、集まる、にぎわいをつくる

担当課名	建設部 施設整備課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
目		03	街路費

事業名	街路廿日市駅通線(駅前広場)整備事業	事業開始年度	平成 22 年度
	J R 廿日市駅周辺の都市基盤整備の推進 (街路廿日市駅通線(駅前広場)整備事業)	根拠法令 条例 個別計画等	都市計画法

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	廿日市駅周辺地区の市民 駅利用者 商店街利用者 など	本市の東の玄関口として、活力と魅力のある市街地を形成するため、平成28年度を目標に当該路線(駅前広場・自由通路及び周辺施設)を整備し、駅へのアクセス性、利便性の向上を図る。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	J R 西日本旅客鉄道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に係る計画, 設計, 関係機関協議調整, 地元関係者説明</li> <li>用地取得, 工事発注, 現場管理, 地元調整</li> <li>施設整備完了後の施設管理</li> </ul>

## 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	○街路廿日市駅通線(駅前広場)の整備		国道2号線とJ R 廿日市駅を連絡する街路廿日市駅通線(県事業)にあわせて、交通結節点の機能強化、駅利用者の利便性の向上を図るため廿日市駅南口の駅前広場を整備する。 広場面積は約3,000㎡、広場にはバス、タクシー、障がい者用停車スペース、一般送迎用スペースなどを確保する。 平成23年3月に事業認可を取得し、用地測量調査等に着手した。 平成25年度は、駅前広場の調査設計業務等及び一部用地取得の契約を行った。																																													
	○街路廿日市駅構内線(自由通路)の整備		駅の南北に分断された地区の連絡強化を図るため自由通路を整備する。 延長は約80m、幅員は6m、あわせてエレベーター2基を設置するとともに、自由通路の設置に伴い支障となるJ R 廿日市駅の駅舎を橋上化する。 平成25年度は、自由通路に伴う駅施設及び駅構内の関連施設の移転補償及び自由通路等の詳細設計をJ R へ委託し実施した。																																													
	○事業費関連		債務負担行為 <span style="float: right;">千円</span>																																													
	【歳入】		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>移転補償</td> <td>495,358</td> <td></td> <td>212,296</td> <td>707,654</td> </tr> <tr> <td>設計・工事委託</td> <td>24,302</td> <td>32,201</td> <td>557,694</td> <td>614,197</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>519,660</td> <td>32,201</td> <td>769,990</td> <td>1,321,851</td> </tr> </table>					H25	H26	H27	計	移転補償	495,358		212,296	707,654	設計・工事委託	24,302	32,201	557,694	614,197	合計	519,660	32,201	769,990	1,321,851																						
		H25	H26	H27	計																																											
	移転補償	495,358		212,296	707,654																																											
	設計・工事委託	24,302	32,201	557,694	614,197																																											
	合計	519,660	32,201	769,990	1,321,851																																											
	【歳出】		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>社会資本整備総合交付金(街路)</td> <td>180,923,000</td> <td>円</td> <td>用地購入費</td> <td>14,780,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>街路整備事業債(合併特例債)</td> <td>378,500,000</td> <td>円</td> <td>JR駅施設移転補償費</td> <td>516,350,013</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>不動産鑑定手数料</td> <td>84,000</td> <td>円</td> <td>家屋等補償費</td> <td>24,754,900</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>関係機関協議資料作成業務委託料</td> <td>488,250</td> <td>円</td> <td>事務費</td> <td>39,200</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>自由通路等詳細設計委託料</td> <td>12,500,000</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>測量調査設計業務委託料</td> <td>11,268,600</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業用地管理工事</td> <td>735,000</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				社会資本整備総合交付金(街路)	180,923,000	円	用地購入費	14,780,000	円	街路整備事業債(合併特例債)	378,500,000	円	JR駅施設移転補償費	516,350,013	円	不動産鑑定手数料	84,000	円	家屋等補償費	24,754,900	円	関係機関協議資料作成業務委託料	488,250	円	事務費	39,200	円	自由通路等詳細設計委託料	12,500,000	円				測量調査設計業務委託料	11,268,600	円				事業用地管理工事	735,000	円			
	社会資本整備総合交付金(街路)	180,923,000	円	用地購入費	14,780,000	円																																										
街路整備事業債(合併特例債)	378,500,000	円	JR駅施設移転補償費	516,350,013	円																																											
不動産鑑定手数料	84,000	円	家屋等補償費	24,754,900	円																																											
関係機関協議資料作成業務委託料	488,250	円	事務費	39,200	円																																											
自由通路等詳細設計委託料	12,500,000	円																																														
測量調査設計業務委託料	11,268,600	円																																														
事業用地管理工事	735,000	円																																														
コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越																																										
	財源内訳	直接事業費 A	53,084,827	580,999,963		60,480,000																																										
		国庫支出金	16,621,000	180,923,000		31,049,000																																										
		県支出金																																														
		借入金(市債)	33,100,000	378,500,000		27,900,000																																										
		その他(使用料など)																																														
	市(市税など)	3,363,827	21,576,963		1,531,000																																											
人件費(按分) B	1.09 人 9,561,480	1.09 人 9,249,740																																														
総事業費(A+B)	62,646,307	590,249,703																																														
到達目標	活動	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人																																												
		② 市民1人当たり	531	5,016																																												
到達目標	成果	活動	用地取得の進捗率	%	12	21	22	100	取得した面積																																							
		成果	アクセス性・利便性の向上	%																																												

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに  
 重点的取組 2 人をひきつけ、集まる、にぎわいをつくる

担当課名	建設部 施設整備課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	09	駐車場費

事業名	<b>自転車駐車場整備事業</b>	事業開始年度	平成 24 年度
	J R 廿日市駅周辺の都市基盤整備の推進（廿日市駅前自転車駐車場整備事業）	根拠法令 条例 個別計画等	—

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	自転車駐車場利用者	街路廿日市駅通線（駅前広場）整備事業にあわせて、平成28年度を目標に J R 廿日市駅西側に自転車駐車場を整備する。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に係る計画，設計，関係機関協議調整，地元関係者説明</li> <li>用地取得，工事発注，現場管理，地元調整</li> <li>施設整備完了後の施設管理</li> </ul>

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	○廿日市駅前自転車駐車場の整備 街路廿日市駅通線（駅前広場）整備事業にあわせて、廿日市駅前自転車駐車場を整備する。 平成25年度は、自転車駐車場の詳細設計及び自転車駐車場の一部工事（平面部）を行った。							
	○事業費関連 【歳入】 社会資本整備総合交付金（街路） 11,053,000 円 自転車駐車場整備事業債（合併特例債） 10,000,000 円  【歳出】 関係機関協議資料作成等業務委託料 498,750 円 設計業務委託料 4,998,000 円 廿日市駅自転車駐車場整備工事外 16,916,000 円							
コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
	財源内訳	直接事業費 A	376,770,020	22,412,750		27,084,000		
		国庫支出金	72,600,000	11,053,000		12,817,000		
		県支出金						
		借入金（市債）	289,000,000	10,000,000		13,300,000		
		その他(使用料など)						
		市（市税など）	15,170,020	1,359,750		967,000		
		人件費(按分) B	0.30 人 2,631,600	0.30 人 2,545,800	/			
	総事業費(A+B)	379,401,620	24,958,550					
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人					
	② 駅前広場利用者(H37推計)	8,820 人	8,820 人					
	利用者1人当たり	43,016	2,830					
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H 27 目標値	備考
	活動	整備工事の進捗率	%		22	12	25	完成工事費/全体工事費
	成果	アクセス性・利便性の向上	%					H 2 8 年度完成目標

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名	建設部 建設総務課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
目		03	街路費

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに  
 重点的取組 2 人をひきつけ、集まる、にぎわいをつくる

事業名	<b>街路廿日市駅通線整備事業</b>	事業開始年度	平成 17 年度
	廿日市駅通線の整備促進	根拠法令 条例 個別計画等	・広島県建設事業負担金条例 ・都市計画道路廿日市駅通線道路改良事業に係る用地取得事務等に関する条例

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	J R 廿日市駅利用者 廿日市駅周辺地区の住民 商店街利用者など	国道 2 号と J R 廿日市駅を連絡することにより、J R 廿日市駅南地区の骨格道路として機能させ、駅へのアクセス性の向上や安全性が向上する。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
広島県	市	広島県の事業の円滑な推進のため、地元調整や事業用地取得のための用地交渉

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	広島県が施行する街路廿日市駅通線整備事業の促進を図る。					
	<p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○用地取得等業務委託金 229,809 円</li> <li>○街路整備事業債(合併特例債) 2,300,000 円</li> <li>○雇用保険料 2,990 円</li> </ul> <p>【歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○建設負担金 2,469,246 円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・街路廿日市駅通線 2,420,211 円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>34,394,579円×1/15+</li> <li>1,272,400円×1/10</li> </ul> </li> <li>・街路佐方線 49,035 円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>490,035円×1/10</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○委託料 220,500 円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・補償金再算定業務</li> </ul> </li> <li>○事務費 55,797 円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産鑑定評価手数料等</li> </ul> </li> </ul> <p>《平成24年度繰越》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○建設負担金 66,666 円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・街路廿日市駅通線 1,000,000円×1/15</li> </ul> </li> </ul>					
コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
	直接事業費 A		25,490,884	2,812,209	66,666	3,441,000
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	907,940	229,809		
		借入金(市債)	23,300,000	2,300,000		3,200,000
		その他(使用料など)	4,603	2,990		
	市(市税など)		1,278,341	279,410	66,666	241,000
人件費(按分) B		0.20 人 1,754,400	0.20 人 1,697,200	/		
総事業費(A+B)		27,245,284	4,509,409			
単位 ト換算 コスト	①人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
	市民1人当たり	231	38			
		0	0			
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値
	活動	整備延長	m	11	-	-
成果	駅へのアクセスの向上・安全性の向上	%	H28工事完成年度(供用開始)・100%			

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名		分権政策部 経営政策課	
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

基本目標	2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標	1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに
重点的取組	3 地域の特性を生かした拠点をつくり、つなげる

事業名	<b>公共施設調査事業</b>	事業開始年度	平成 22 年度
	大野支所周辺市有地にぎわい創出調査業務	根拠法令 条例 個別計画等	—

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、来訪者、地元の事業者	地域の賑わい拠点をつくることにより、産業や交流が活性化する。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	国・県担当部署 各種団体	国・県・コミュニティ・各種団体との協議・調整 業務委託

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<p>○大野一丁目地区内賑わい施設検討業務 大野支所敷地を活用した一体型の道の駅の整備可能性について協議・検討するため、計画交通量を基にした交通処理について検討し、一体型道の駅の整備に向けた条件整理や課題等を明らかにすることを目的として実施した。</p> <p>○大野支所周辺にぎわい創出に係る事業性評価検討業務 地域の商工関連団体等と連携し、物産販売等を核とした実験イベント事業を実施。 大野支所を含む周辺市有地におけるにぎわい創出拠点の整備に向けた評価・検証を行った。</p> <p>開催日：平成25年8月3日（土）・4日（日）の2日間 来場者：約2,000人（2日間） 参加事業者：35事業者 実施調査 (1) 量的調査（来場車両等） (2) 出店者調査（アンケート調査・ヒアリング調査） (3) 来場者アンケート</p> <p>【参考】 H22～H23 大野支所検討委員会の開催→検討委員会から報告書提出 H24 大野支所敷地における地域物産販売の可能性調査・施策提言（業務委託） 大野一丁目地区内賑わい施設検討（業務委託）</p> <p>・事業費関連 【歳出】 大野一丁目地区内賑わい施設検討業務 493,500 円 大野支所周辺にぎわい創出に係る事業性評価検討業務 2,181,900 円</p>					
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越
財源内訳		直接事業費 A	4,845,000	2,675,400		
		国庫支出金				
		県支出金				
		借入金（市債）				
		その他(使用料など)				
		市（市税など）	4,845,000	2,675,400		
	人件費(按分) B	0.60 人 5,263,200	0.50 人 4,243,000			
	総事業費(A+B)	10,108,200	6,918,400			
ト換算	①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人		
	②	市民1人当たり	86	59		

到達目標	活動及び成果指標		単位	H24 実績値	H25 目標値	H25 実績値	H27 目標値	備考
	活動	各種団体との調整	件			1	1	
	成果	モデル事業の実施	件			1	1	
	成果	賑わい拠点整備の方針決定	件			1		1

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに  
 重点的取組 3 地域の特性を生かした拠点をつくり、つなげる

担当課名	総務部 総務課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

事業名	<b>公共施設調査事業</b>	事業開始年度	平成 25 年度
	庁舎跡地利用計画作成業務委託（旧宮島支所）	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	宮島地域を中心とする住民等	旧宮島庁舎跡地の解体後の跡地利用について、跡地利用建築基本計画の作成を行う。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	受託業者	委託手続、業務の管理

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	前年度実施した旧宮島支所跡地利用計画を基に、地域住民とのワーキング検討会により建築基本計画を作成した。						
	《業務内容》 1 準備・作業計画 2 建築機能と規模の算出 3 動線・基本空間の検討 4 施設計画案の作成 5 再配置案作成支援  《業務成果》 新施設計画図の作成 施設概要 ・構造：鉄筋コンクリート構造 ・階数：地下1階、地上2階 ・想定主要仕上げ：屋根；金属板葺き、外壁：タイル貼り ・延べ床面積 1,828.6㎡、建築面積 725.0㎡ 宮島地域施設再配置案 公共施設マネジメント基本方針に基づき、機能集約化・統廃合の検討をした。 ・宮島地域における公共施設の配置 ・機能集約により廃止する施設案  【歳出決算額】 旧宮島支所庁舎跡地利用建築基本計画検討業務 3,255,000 円						

コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
	財源内訳	直接事業費 A		3,255,000	
国庫支出金					
県支出金					
借入金(市債)					
その他(使用料など)					
市(市税など)				3,255,000	
人件費(按分) B	人		0.20 人		
			1,697,200		
	総事業費(A+B)		4,952,200		
単位コスト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人		
	② 市民1人当たり		42		

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	施設の機能と規模の検討					
成果	建築基本計画の作成						



# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに  
 重点的取組 1 幹線道路の渋滞を解消する

担当課名	建設部 建設総務課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	02	道路橋りょう費
	目	02	道路橋りょう新設改良費

事業名	宮島スマートインターチェンジアクセス道路整備事業	事業開始年度	平成 21 年度
	高速道路などへのアクセスの整備推進 (宮島スマートIC機能拡充整備)	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	・宮島スマートインターチェンジ利用者 ・歩行者など、道路の利用者	宮島スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備により、宮島スマートインターチェンジ利用者の利便性の向上を図るとともに、歩行者などの道路利用者の安全性が確保できる。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	広島県	事業推進に係る進行管理、工事監督

### 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	宮島スマートインターチェンジへのアクセス道路(山陽道6号・8号線)を整備するとともに、スマートインターチェンジの運用を、大型化・24時間化する。  ・事業費関連  【歳入】 ○社会資本整備総合交付金 61,380,000 円 ○道路整備事業債(公共事業等債ほか) 51,000,000 円  【歳出】 ◎アクセス道路整備関連(山陽道側道6号線・山陽道側道8号線) ○業務委託費 493,500 円  《平成24年度繰越》 ◎アクセス道路整備(山陽道側道6号線・山陽道側道8号線) ○業務委託費 491,400 円 ○工事費 116,984,750 円						
	コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
財源内訳		直接事業費 A	149,182,027	117,969,650	117,476,150		
		国庫支出金	69,575,000	61,380,000	61,380,000		
		県支出金					
		借入金(市債)	71,700,000	51,000,000	51,000,000		
		その他(使用料など)					
市(市税など)		7,907,027	5,589,650	5,096,150			
人件費(按分) B	0.80 人 7,017,600	1.00 人 8,486,000					
総事業費(A+B)	156,199,627	126,455,650					
単位コスト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人				
	市民1人当たり	1,324	1,075				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	整備延長	m	620	130	130	—
	成果	利便性の向上・道路利用者の安全性確保	%	H25工事完成年度(供用開始)・100%			

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに  
 重点的取組 1 幹線道路の渋滞を解消する

担当課名	建設部 施設整備課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
	目	03	街路費

事業名	<b>街路深江林ヶ原線整備事業</b>	事業開始年度	平成 19 年度
	都市計画道路の整備促進（街路深江林ヶ原線整備事業）	根拠法令 条例 個別計画等	道路法 都市計画法

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	周辺地区の市民 街路利用者 など	大野地域の市街地を東西に横断する主要な道路である当該路線を平成27年度を目標に整備することにより、交通の円滑化、利用者の利便性、安全性の向上を図る。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に係る計画，設計，関係機関協議調整，地元関係者説明</li> <li>用地取得，工事発注，現場管理，地元調整</li> <li>施設整備完了後の施設管理</li> </ul>

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	○街路深江林ヶ原線の整備																				
	<p>街路深江林ヶ原線は大野地域の市街地を東西に横断する主要な道路である。このうち、交通混雑が激しい大野インターチェンジ南交差点から西側の326m区間を整備し、狭い地区内生活道路へ流入する通過交通の排除、信号待ちによる渋滞の解消、地区内生活道路の安全性の向上、変則交差点の改善を図る。整備延長は、326m（内橋梁部23m）幅員は、車道7mその片側に2.5mの歩道を有する9.5m。平成22年7月事業認可を取得し用地取得に着手した。平成25年度は、引き続き用地取得を進めた。</p>																				
実施した事業の内容（活動実績）	○事業費関連																				
	<p>【歳入】</p> <table border="1"> <tr> <td>社会資本整備総合交付金(道路)</td> <td>21,582,000 円</td> </tr> <tr> <td>街路整備事業債(合併特例債)</td> <td>27,400,000 円</td> </tr> </table> <p>【歳出】</p> <table border="1"> <tr> <td>不動産鑑定評価料</td> <td>126,000 円</td> </tr> <tr> <td>補償金算定業務委託料</td> <td>960,750 円</td> </tr> <tr> <td>道路整備工事</td> <td>5,512,500 円</td> </tr> <tr> <td>用地購入費</td> <td>18,096,623 円</td> </tr> <tr> <td>家屋等補償費</td> <td>26,701,500 円</td> </tr> <tr> <td>事務費(消耗品費)</td> <td>8,600 円</td> </tr> </table>						社会資本整備総合交付金(道路)	21,582,000 円	街路整備事業債(合併特例債)	27,400,000 円	不動産鑑定評価料	126,000 円	補償金算定業務委託料	960,750 円	道路整備工事	5,512,500 円	用地購入費	18,096,623 円	家屋等補償費	26,701,500 円	事務費(消耗品費)
社会資本整備総合交付金(道路)	21,582,000 円																				
街路整備事業債(合併特例債)	27,400,000 円																				
不動産鑑定評価料	126,000 円																				
補償金算定業務委託料	960,750 円																				
道路整備工事	5,512,500 円																				
用地購入費	18,096,623 円																				
家屋等補償費	26,701,500 円																				
事務費(消耗品費)	8,600 円																				
コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越															
	財源内訳	直接事業費 A	107,760,640	51,405,973	30,458,297	145,871,000															
		国庫支出金	58,058,000	21,582,000	16,742,000	85,373,000															
		県支出金																			
		借入金(市債)	46,400,000	27,400,000	13,000,000	57,400,000															
		その他(使用料など)																			
		市(市税など)	3,302,640	2,423,973	716,297	3,098,000															
		人件費(按分) B	0.61 人 5,350,920	0.61 人 5,176,460																	
		総事業費(A+B)	113,111,560	56,582,433																	
	ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人																	
② 市民1人当たり		959	481																		
		0	0																		
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H 27 目標値	備考													
	活動	用地取得の進捗率	%	59	84	66	100														
	成果	利便性・安全性の向上	%	H27年度 完成目標(供用開始) 100%																	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに  
 重点的取組 1 幹線道路の渋滞を解消する

担当課名	建設部 施設整備課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
目	03	街路費	

事業名	<b>街路畑口寺田線4工区整備事業</b>	事業開始年度	平成 20 年度
	都市計画道路の整備促進（街路畑口寺田線4工区整備事業）	根拠法令 条例 個別計画等	道路法 都市計画法

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	周辺地区の市民 街路利用者 など	広域交通機能のネットワーク化を図る当該路線を整備し、交通の円滑化、アクセシビリティ、利便性の向上を図る。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に係る計画，設計，関係機関協議調整，地元関係者説明</li> <li>用地買収，工事発注，現場管理，地元調整</li> <li>施設整備完了後の施設管理</li> </ul>

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	○街路畑口寺田線4工区の整備							
	街路畑口寺田線4工区は佐方地区と廿日市駅北土地区画整理事業地内を結び、広域交通機能のネットワークを図り、廿日市駅周辺における交通結節点としての機能強化を図る路線として、都市計画道路佐方線とともに、廿日市駅北土地区画整理事業の進捗にあわせて計画な整備を行う。							
	整備延長は、約240m 幅員は、標準部18m 高架部33.5m（内橋梁部14m） 平成25年度は、事業認可の取得を行い事業着手し、実施設計、用地測量等を行った。							
	○事業費関連							
	【歳入】							
	社会資本整備総合交付金（街路） 19,723,000 円							
	街路整備事業債（合併特例債） 24,700,000 円							
	【歳出】							
	不動産鑑定手数料 926,100 円							
	事業認可図書作成業務委託料 493,500 円							
測量調査設計業務委託料 44,886,450 円								
コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
	財源内訳	直接事業費 A	1,640,100	46,306,050	8,954,400	69,745,000		
		国庫支出金		19,723,000		37,477,000		
		県支出金						
		借入金（市債）	1,600,000	24,700,000	8,400,000	30,100,000		
		その他(使用料など)						
		市（市税など）	40,100	1,883,050	554,400	2,168,000		
		人件費(按分) B	0.42 人 3,684,240	0.42 人 3,564,120	/			
	総事業費(A+B)	5,324,340	49,870,170					
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人					
	② 市民1人当たり	45	424					
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	測量調査設計の進捗率	%	30	62	67	88	
	成果	事業認可の取得及び事業着手			認可取得・事業着手		—	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに  
 重点的取組 1 幹線道路の渋滞を解消する

担当課名	建設部 建設総務課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	02	道路橋りょう費
	目	02	道路橋りょう新設改良費

事業名	国・県道整備負担金	事業開始年度	平成 * 年度
	国・県道の整備促進	根拠法令 条例 個別計画等	広島県建設事業負担金条例

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	道路利用者	日常生活及び産業活動における道路利用者の利便性が向上する。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
広島県	市	広島県の事業の円滑な推進のため、地元調整などの事業調整

### 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	地区間の円滑な交通の確保や、近隣市町とのアクセスの向上のための幹線道路である、国・県道の整備を促進する。							
	・事業費関連							
	【歳入】							
	○道路整備事業債(合併特例債) 14,700,000 円							
	【歳出】							
	○廿日市地域 306,666 円							
	・虫道廿日市線(平良) 4,600,000円×1/15							
	○佐伯・吉和地域 9,200,000 円							
	・廿日市佐伯線(明石) 92,000,000円×1/10							
	○大野地域 2,760,000 円							
・栗谷大野線(毛保) 27,600,000円×1/10								
・管内一円 3,155,146 円								
コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
	財源内訳	直接事業費 A	17,011,399	15,421,812				
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金(市債)	16,000,000	14,700,000				
		その他(使用料など)						
		市(市税など)	1,011,399	721,812				
		人件費(按分) B	0.50 人 4,386,000	0.50 人 4,243,000				
		総事業費(A+B)	21,397,399	19,664,812				
	単位 ト換算 コスト	①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
		市民1人当たり	181	167				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24 実績値	H25 目標値	H25 実績値	H27 目標値	備考
	活動	整備延長	m	855				広島県と調整中
	成果	整備率(完成延長/全体延長) (整備計画期間内)	%	73				広島県と調整中

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに  
 重点的取組 2 公共交通機関を使いやすくする

担当課名	建設部 施設整備課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	02	道路橋りょう費
	目	02	道路橋りょう新設改良費

事業名	道路整備事業	事業開始年度	平成 20 年度
	交通バリアフリー化の推進（JR大野浦駅周辺整備事業）	根拠法令 条例 個別計画等	道路法 高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	大野浦駅周辺地区の市民 駅利用者 など	JR大野浦駅を使いやすくするために、駅周辺道路や自由通路を整備し、駅へのアクセス性、利便性の向上を図る。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	JR西日本旅客鉄道株式会社 地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に係る計画，設計，関係機関協議調整，地元関係者説明</li> <li>用地取得，工事発注，現場管理，地元調整</li> <li>施設整備完了後の施設管理</li> </ul>

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	○JR大野浦駅周辺道路等（駅前広場等）の整備 交通結節点の機能強化、駅利用者の利便性の向上を図るため大野浦駅北口の駅前広場を整備する。広場面積約1,200㎡、広場にはバス、タクシー、障がい者用停車スペース、一般送迎用スペースなどを確保する。また、駅前広場整備に伴い支障となるJR大野浦駅の駅舎を橋上化する。さらに、駅北口広場へのアクセス道路をあわせて整備する。 暫定整備している駅南口広場については、自由通路の整備にあわせて整備する。 平成25年度については、測量調査設計業務を行った。								
	○自由通路の整備 駅の南北に分断された地区の連絡強化を図るため自由通路を整備する。延長は約42m、幅員は3m、あわせてエレベーター2基を整備する。 平成25年度は、JRとの実施に向けた協議調整を行った。								
	○事業費関連 【歳入】 社会資本整備総合交付金（道路） 1,353,000 円 道路整備事業債（合併特例債） 5,400,000 円  【歳出】 測量調査設計業務委託料 7,467,600 円								
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
		財源内訳	直接事業費 A	9,030,000	7,467,600				
			国庫支出金	4,950,000	1,353,000				
			県支出金						
			借入金（市債）	3,800,000	5,400,000				
			その他(使用料など)						
		市（市税など）	280,000	714,600					
人件費(按分) B	0.77 人 6,754,440	0.77 人 6,534,220							
総事業費(A+B)	15,784,440	14,001,820							
到達目標	活動	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人					
		② 市民1人当たり	134	119					
到達目標	成果	活動	測量・調査・設計の進捗率	%	51	53	57	100	
		成果	基本協定の締結				協定締結		-

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 3 盛んな産業といろいろな働き場があり、成長するまちに  
 重点的取組 1 地元産業が元気になるよう支援する

担当課名	環境産業部 商工労政課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
	目	02	商工業振興費

事業名	<b>商工業振興事業</b>	事業開始年度	平成 20 年度
	産業振興組織づくり、地域資源活用による商品開発の支援、市内産業連関の促進など	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市商工業活性化ビジョン

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	商工業者、農林水産業者	○経営を安定化し産業振興を図る。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	商工会議所及び商工会事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興協議会の開催</li> <li>廿日市市商工業活性化ビジョンの推進業務</li> <li>補助金の交付など</li> </ul>

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興協議会の開催 商工業振興・企業支援等のために、関係機関の連携による先導的な役割を果たす機関協議会に3部会を設置（地域資源活用部会、新商品開発部会、賑わい創出部会）</li> <li>商工業活性化ビジョン推進事業委託 商工業活性化ビジョンに掲げられた各種事業を実施するための支援業務を専門機関へ委託した。</li> <li>産業連関強化塾の開催 商工業者、農林水産業者、観光業者の連携、農林水産業の6次産業化など、市内での新たな経済循環を創出するため市内産業の連関を支援する講座を開催した。</li> <li>新商品等開発事業補助金の交付 中小企業者等が実施する地域の資源や特性を生かした新商品・新役務開発を行う者に対して、補助金を交付することにより、地域の活性化と地場産業の振興を図った。</li> <li>事業費関連 【歳出】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興協議会委員報償費外 87,260 円</li> <li>商工業活性化ビジョン推進事業委託 1,995,000 円</li> <li>産業連関強化塾開催業務委託 997,500 円</li> <li>新商品等開発事業補助金 800,000 円</li> <li>にぎわい創出事業補助金 1,500,000 円</li> <li>事務費（高速道路通行料） 6,750 円</li> </ul> </li> </ul>							
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A	2,461,840	5,386,510			
			国庫支出金					
			県支出金					
			借入金（市債）					
			その他(使用料など)					
			市（市税など）	2,461,840	5,386,510			
			人件費(按分) B	0.30 人 2,631,600	1.20 人 10,183,200			
			総事業費(A+B)	5,093,440	15,569,710			
ト換算		①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
	②	市民1人当たり	43	132				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	産業振興協議会及び部会の開催回数	回	2	4	3	5	
		農商工連携支援など(累計)	件	4	4	9	7	
	成果	企業間(教育機関も含む。)の連携、新商品の開発件数(累計)	件	4	3	8	6	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 3 盛んな産業といろいろな働き場があり、成長するまちに  
 重点的取組 1 地元産業が元気になるよう支援する

担当課名	環境産業部 商工労政課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
	目	02	商工業振興費

事業名	住宅・店舗リフォーム助成事業	事業開始年度	平成 23 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市住宅リフォーム助成 事業補助金交付要綱など

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、店舗経営者 市内建築業者	○市民が安全、安心して住み続けられる住宅の供給 ○市民が安心して買い物ができること ○市内建築関係業者及び地域経済の活性化

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	商工会議所、各商工会	・制度の周知 ・希望者の募集、応募物件の審査、補助金対象者の決定、補助金の交付

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅リフォーム事業補助金 市内住宅関連業者が施工した場合の住宅リフォームに要する経費の一部を助成することで、市民が安全、安心して住み続けられる居住環境の向上を図るとともに、市内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を図った。</li> <li>店舗リフォーム事業補助金 店舗のリフォーム工事経費の一部を助成することで、誰もが利用しやすい良質な店舗づくりとともに、商店街及び市内の建築関連産業を中心とした地域経済の活性化を図った。</li> </ul>							
	【補助金額】							
	・改修工事に要した費用（30万円以上）の100分の10とし20万円を上限							
	・事業費関連							
	【歳出】							
	住宅リフォーム助成事業補助金 6,506,000 円 (46件)							
	店舗リフォーム助成事業補助金 386,000 円 (2件)							
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A	5,108,200	6,892,000			
			国庫支出金					
県支出金								
借入金(市債)								
その他(使用料など)								
		市(市税など)	5,108,200	6,892,000				
		人件費(按分) B	0.15 人 1,315,800	0.50 人 4,243,000				
		総事業費(A+B)	6,424,000	11,135,000				
ト換算		①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
	②	市民1人当たり	54	95				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24 実績値	H25 目標値	H25 実績値	H27 目標値	備考
	活動	補助金交付件数	件	40	35	48	35	700/20万円
		工事費総額	百万円	62	54	88	54	百万円未満切捨て
	成果	経済波及効果(生産誘発効果)	百万円	78	68	111	68	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 3 盛んな産業といろいろな働き場があり、成長するまちに  
 重点的取組 2 新しい時代に応じた企業を支援する

担当課名	環境産業部 商工労政課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
	目	02	商工業振興費

事業名	<b>商工業振興事業</b>	事業開始年度	平成 21 年度
	起業家の育成支援、コミュニティビジネスの推進、起業家向け支援策の充実	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市商工業活性化ビジョン

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	創業及び起業しようとする市民	○市内の創業や起業の促進が図られること。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	商工会議所及び各商工会	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援施設の委託事務</li> <li>創業・起業講座の開催</li> </ul>

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援施設の管理委託                             <ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援施設の管理</li> <li>施設へ入居した事業者に対し創業、起業への経営指導、助言などを行った。（廿日市商工会議所へ委託）</li> </ul> </li> <li>創業・起業講座の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>新たなビジネスの創出に向け、若者や女性、シニアなどの起業のきっかけとなるよう「創業・起業支援講座」を開催した。</li> </ul> </li> <li>事業費関連                             <ul style="list-style-type: none"> <li>【歳入】                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援施設使用料 106,290 円</li> </ul> </li> <li>【歳出】                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援施設の管理委託 1,000,000 円</li> <li>創業・起業支援講座の開催 997,500 円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>							
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A	1,997,500	1,997,500			
			国庫支出金					
			県支出金					
			借入金(市債)					
			その他(使用料など)	249,550	106,290			
		市(市税など)	1,747,950	1,891,210				
		人件費(按分) B	0.30 人 2,631,600	0.50 人 4,243,000				
		総事業費(A+B)	4,629,100	6,240,500				
ト換算		① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人				
	② 市民1人当たり	39	53					
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	施設利用者の人数	人	3	3	2	3	
		講座受講者の人数(累計)	人	93	90	115	110	
	成果	市の制度を活用し創業、起業した人数(累計)	人	8	8	10	9	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 3 盛んな産業といろいろな働き場があり、成長するまちに  
 重点的取組 3 将来の産業拠点をつくる

担当課名	環境産業部 商工労政課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
	目	02	商工業振興費

事業名	<b>商工業振興事業</b>	事業開始年度	平成 6 年度
	工場等設置奨励金の交付など	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市宮内工業団地工場等設置奨励金交付要綱など

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市内工業団地立地企業	奨励金、助成金の交付措置を講ずることにより、工業団地に企業を誘致し、市内産業の振興と雇用機会の拡大を図る。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	広島県	○奨励金などの算定、交付事務

### 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	■工場等設置奨励金の交付 工業団地に工場を設置した企業に対し、工場等設置奨励金交付要綱などにに基づき奨励金を交付した。 ■交付期間及び額 1 廿日市市宮内工業団地工場等設置奨励金交付要綱 (1) 期間 5年間 (2) 交付額 各年度の固定資産税額に相当する額を奨励金として交付 2 廿日市市木材港北広島港造成地における企業立地奨励金交付要綱 (1) 期間 3年間 (2) 交付額 各年度の固定資産税額に相当する額に一定の割合を乗じて奨励金として交付 ・事業費関連 【歳出】 宮内工業団地工場等設置奨励金 2,948,000 円 木材港北広島港造成地企業立地奨励金 2,121,000 円 佐伯工業団地休養施設トイレ等修繕 795,900 円 旅費(企業誘致) 338,320 円							
	コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A	11,650,680	6,203,220			
			国庫支出金					
			県支出金					
			借入金(市債)					
			その他(使用料など)					
			市(市税など)	11,650,680	6,203,220			
			人件費(按分) B	1.00 人 8,772,000	1.00 人 8,486,000			
			総事業費(A+B)	20,422,680	14,689,220			
ト換算		①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
	②	市民1人当たり	173	125				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H 27 目標値	備考
	活動	奨励金の交付	件	4	3	3	2	
		助成金の交付	件	1	2			
	成果	工場の誘致	件	1	2			1
雇用機会の拡大								

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 1 市民の多様な活動を支え、自己実現のできる環境にする

担当課名	自治振興部 地域政策課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
	目	03	公民館費

事業名	<b>公民館活動一般事業</b>	事業開始年度	昭和 48 年度
	市民センターを中心とした多様な学習機会の提供	根拠法令 条例 個別計画等	社会教育法、廿日市市教育振興計画

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	乳幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした市民	生涯学習機会の提供をはじめ、地域課題の解決に向けた地域活動の支援など、多様な役割を發揮し、人づくり、地域づくりの拠点として機能する施設を目指す。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市(市民センター)	公民館企画運営委員会、市民センター区域内のコミュニティ推進団体等	地域課題、市民ニーズ等を反映させた自主事業の企画・実施 公民館企画運営委員会、コミュニティ等が実施する市民主体の事業支援

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容(活動実績)	【事業概要】									
	○主催事業数(指定管理施設を除く) 215講座									
	○主催事業参加者数(指定管理施設を除く) 72,820人									
	【歳出】									
	・講師謝金、旅費 4,907,771 円									
	・事務費(消耗品費外) 459,464 円									
	コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越			
		財源内訳	直接事業費 A		6,405,593	5,367,235				
			国庫支出金							
			県支出金							
借入金(市債)										
その他(使用料など)										
市(市税など)		6,405,593	5,367,235							
人件費(按分) B		1.00 人 8,772,000	1.00 人 8,486,000	/						
総事業費(A+B)		15,177,593	13,853,235							
ト換算		① 人口(4月1日現在)	118,000 人					117,680 人		
	② 市民1人当たり	129	118							
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考		
	活動	市民向け講座の年間開催件数【教育振興計画指標】 (※生涯学習事業のまとめ)	回	237	247	231	254	H20:242の5%アップ		
	成果	生涯学習への支援や学習機会の提供に対する市民満足度 (※総合計画策定時の市民アンケート調査)	ポイント		—		3.06以上	H23実績:3.06		

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名		自治振興部 地域政策課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
	目	03	公民館費

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 1 市民の多様な活動を支え、自己実現のできる環境にする

事業名	<b>公民館維持管理事業</b>	事業開始年度	平成 * 年度
	公民館維持管理事業	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	公民館利用者	利用者が安全で安心して利用できる施設に改修する。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	公民館利用者	空調設備、屋上防水改修など、公民館施設における不具合箇所の修繕工事等の実施

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	【事業概要】				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大野公民館空調設備電気設備改修工事 37,086,000円</li> <li>公民館洋式トイレ改修工事（平良、原、串戸、大野） 4,905,788円 （平成24年度繰越事業）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断業務（阿品、吉和、宮島） 4,137,000円</li> </ul> </li> </ul>				
	【歳入】				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会資本整備総合交付金 1,317,000円</li> </ul>				
【歳出】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>役務費 215,250円</li> <li>委託料 451,500円</li> <li>工事請負費 51,963,927円 （平成24年度繰越分）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>委託料 4,137,000円</li> </ul> </li> </ul>					

コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
	財源内訳	直接事業費 A	35,122,800	56,767,677	4,137,000
国庫支出金			1,317,000	1,317,000	
県支出金					
借入金（市債）		12,800,000			
その他(使用料など)					
市（市税など）		22,322,800	55,450,677	2,820,000	
ト換算	人件費(按分) B	1.00 人 8,772,000	1.00 人 8,486,000	/	
	総事業費(A+B)	43,894,800	65,253,677		
	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人		
②	市民1人当たり	372	555		

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	工事施工	—		—		—
成果	全市民センターの洋式トイレの整備	施設	12	14	16	20	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名		教育部 文化スポーツ課	
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
目	目	02	文化振興費

基本目標	2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標	4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに
重点的取組	1 市民の多様な活動を支え、自己実現のできる環境にする

事業名	<b>文化財保存・保護事業</b>	事業開始年度	昭和 44 年度
	(指定文化財保存修理補助金)	根拠法令 条例 個別計画等	文化財保護法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 文化財保護条例

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	文化財所有者
	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)	地域の歴史、文化の正しい理解のために欠くことのできない市民の共有財産である文化財の価値を長く維持し、将来へ継承するために所有者が行う保存修理に要する経費の一部を補助し文化財の保存を図る。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
補助金申請者	文化財管理団体、文化財保存団体等	補助金申請事務

### 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	事業の名称：国宝・重要文化財 厳島神社反橋ほか3棟建造物保存修理事業（24年度～26年度） 工事内容の名称：厳島神社本殿附玉垣1棟 部分修理（柱根継） 厳島神社摂社客神社本殿附玉垣1棟 部分修理（柱根継） 反橋1棟 解体修理 末社荒胡子神社本殿1棟 屋根葺替及び部分修理・塗装修理 本年度の施工概要 反橋 仮設工事12.1%（組立用足場、安全手摺、水平養生、垂直養生） 基礎工事100%（布基礎設置、補足石材、礎石据え付け、接岸部排水溝整備 木工事42.9%（補足木材、器具損料・その他、金属資材・雑資材、保存処理費、木材運搬費、大工、普通作業員） 塗装工事35.0%（古材下地処理、丹塗・黄土塗・黒塗（掻き落とし） 雑工事3.0%（土壌防蟻処理） 荒胡子神社本殿 仮設工事22.3%（素屋根等） 解体工事78.1%（縁板・縁廻り解体、野地解体、小屋組解体、飛檐軒解体、天井板解体、揚屋） 基礎工事100%（補足石材、礎石据え直し、基壇石据え直し、基壇石垣据え直し、土間叩き） 木工事100%（補足木材、器具損料・その他、金属資材・雑資材、大工、普通作業員） 屋根工事44.0%（軒付解体、野地防蟻剤塗り、下軒付裏板、上軒付裏板、軒付積、品軒積、水切銅板・上目皮、桧皮平葺、棟銅板 塗装工事8.8%（朱漆本直し・朱漆地直し紙着せ・朱漆真掻合せ（掻き落とし）、胡粉塗（掻き落とし） 雑工事7.0%（土壌防蟻処理） 共通工事 仮設工事30.8%（保存工作小屋、作業小屋、塗装作業小屋など）						
	【歳出】	廿日市市指定文化財等補助金 16,666,000円		【参考】 全体事業費 185,000,000円 H25事業費 100,000,000円 国庫補助金 50,000,000円 県補助金 16,666,000円 市補助金 16,666,000円 所有者負担 16,668,000円			
コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
	財源内訳	直接事業費 A	3,666,000	16,666,000			
		国庫支出金					
		県支出金					
		借入金(市債)					
		その他(使用料など)					
市(市税など)	3,666,000	16,666,000					
	人件費(按分) B	0.10 人 877,200	0.15 人 1,272,900	/			
	総事業費(A+B)	4,543,200	17,938,900				
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人				
	② 市民1人当たり	39	152				
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H 27 目標値	備考
	活動	老朽化し破損した文化財(建造物)の修理、修復	棟	4	4	4	
成果	申請のあった事業に対し適切に執行し、保存と活用の効果をあげた	棟	4	4	4		

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 1 市民の多様な活動を支え、自己実現のできる環境にする

担当課名	教育部 はつかいち市民図書館		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
	目	05	図書館費

事業名	<b>図書館活動事業</b>	事業開始年度	平成 9 年度
	読書環境充実事業（子育て支援事業）	根拠法令 条例 個別計画等	図書館法 はつかいち市民図書館設置及び管理条例 廿日市市子どもの読書推進計画

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	乳幼児から中学生までの市民
	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)	乳幼児及び児童生徒に対する読書啓発事業を実施する。子どもに対するサービスと同時に、子育て世代に対する読書環境整備を通じて、どこのまちよりも子育てしやすいまちづくりを目指す。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	市民・行政関係者・民間団体・市民ボランティア・各種団体	・学校、市民センターその他の教育機関との連携 ・読書団体への協力、及び育成事業 ・読書情報の発信

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア育成事業 読書環境の整備のなかで、特に子どもの読書に関するボランティアの育成を図ることを目的とし、25年度は、前年度のふれあいトークにおける中学生からの要望を踏まえ、中学生を対象としたブックトークの進め方のボランティア研修会を実施した。</li> <li>・保育園、小学校での読み聞かせ事業及びボランティア派遣事業 本を読むことの楽しさを伝えるため、保育園への読み聞かせ事業、小学校へのブックトークボランティア及び昔話ボランティア派遣事業等を実施した。</li> </ul>							
	【歳出】 児童関係事業講師謝礼 28,000円 旅費費用弁償 31,960円							
コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越			
	財源内訳	直接事業費 A	30,000	59,960				
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金(市債)						
		その他(使用料など)						
		市(市税など)	30,000	59,960				
	人件費(按分) B	1.00 人 8,772,000	1.00 人 8,486,000	/				
	総事業費(A+B)	8,802,000	8,545,960					
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人					
	② 市民1人当たり	75	73					
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考	
	活動	ブックトークボランティア勉強会の回数	回	5	8	12	8	
		読み聞かせ及びボランティア派遣事業の回数	回	782	235	1,670	250	
	成果	児童図書館の貸出冊数	冊	288,824	302,000	281,470	305,000	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 1 市民の多様な活動を支え、自己実現のできる環境にする

担当課名	分権政策部 経営政策課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

事業名	<b>市制施行25周年記念事業</b>	事業開始年度	平成 25 年度
	市制施行 2 5 周年記念行事の開催	根拠法令 条例 個別計画等	—

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民	昭和63年の市制施行からのまちの歩みを振り返り、合併を通して発展した本市の姿を市民の皆さんに認識していただき、今後、さらなる全市の一体感の醸成をめざし、事業を実施した。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	コンサルタント事業者	まちづくりに関する記念講演を実施・委託する。 市民参加型のイベントを実施予定。

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念講演の開催 市制施行25周年を迎え、「スポーツの力」をテーマとした記念講演会を開催した。(5/25)</li> <li>関連イベントの実施 市内の各イベントを、「市制施行25周年記念」に関連付け、25周年をPRするとともに、まちづくりの機運を高めた。</li> <li>■主な記念行事 4/7 第24回はつかいち桜まつり 4/14 ウェスタンリーグ2013INさいき 4/26～6/2 生誕100年 武永楨雄展一郷愁ー 5/8 葉加瀬太郎クラシックシアターⅢ 5/25 第7回廿日市市合唱祭 6/20 布施明live2013 6/23 はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会2013 6/23 阿巖太鼓結成33周年和太鼓ライブinはつかいち 6/23 JTサンダーズバレーボール教室 7/21 平原綾香コンサートツアー 10/12～10/20 はつかいち音楽祭 11/23 NHK公開録画スクールライブショー 11/30～2/2 河井寛次郎の陶芸展 12/5～8 2013/14V・プレミアムリーグ男子廿日市大会 1/26 JA広島総合病院・廿日市市 第8回市民公開講座</li> <li>【歳出】 市制施行25周年記念講演会等事務事業委託料 2,525,250円 V・プレミアムリーグ男子廿日市大会小・中・高校生の試合観戦体験(チケット購入費) 300,000円</li> </ul>						
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
財源内訳		直接事業費 A		2,825,250			
		国庫支出金					
		県支出金					
		借入金(市債)					
		その他(使用料など)					
		市(市税など)		2,825,250			
	人件費(按分) B	人	0.25 人	2,121,500			
	総事業費(A+B)			4,946,750			
到達目標	活動	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
		② 市民1人当たり		42			
到達目標	成果	活動	記念講演の開催	件	1	1	
		成果	まちづくりに目を向ける市民の数	人		900	567

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 1 市民の多様な活動を支え、自己実現のできる環境にする

担当課名	総務部 課税課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	02	徴税費
	目	02	賦課徴収費

事業名	市民税賦課事業	事業開始年度	平成 25 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市税条例 地方税法

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民（原動機付き自転車を登録している市民、新規に登録する市民）	廿日市市を市内外にPRするとともに、市民に市への愛着を深めてもらい一体感を醸成する。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市		廿日市らしさを表現したナンバープレートのデザイン選考事務及びそのデザインを表したナンバープレートの作成・交付。

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	・事業の概要	
	廿日市市制施行25周年を記念して、ふるさとへの愛着心を育み、市の魅力を広くPRすることを目的として、「廿日市らしさ」を表現した原動機付自転車の標識（ナンバープレート）を作成し、交付する。	
	・事業費関連	
	【歳出】 選考委員報償費 9,000 円 採用作品等賞金 60,000 円 オリジナルナンバー制作購入費 652,680 円	

コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
	財源内訳	直接事業費 A		721,680	
国庫支出金					
県支出金					
借入金(市債)					
その他(使用料など)					
	市(市税など)		721,680		
	人件費(按分) B	人	0.10 人		
	総事業費(A+B)		848,600		
単位コスト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人		
	② 市民1人当たり		13		

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	ナンバープレート作成	枚		2,000	2300	
成果	市のアピール						

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 3 都市景観と自然景観が調和した美しいまちをつくる

担当課名	建設部 都市・建築局 都市計画課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
	目	01	都市計画総務費

事業名	<b>景観形成推進事業(政策)</b>	事業開始年度	平成 23 年度
	都市計画課で所管する景観に関する事務を遂行するために必要な事務経費	根拠法令 条例 個別計画等	景観法、市景観条例 ふるさと広島の景観の保全と創造に関する条例

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、事業者、来訪者	市民が愛着と誇りを感じ、来訪者の心に残る景観形成を推進するため、景観条例及び景観計画に基づき、市民の景観意識の醸成を図ることで、地域の特徴を生かした景観づくりや、魅力ある都市景観の形成など良好な景観の創造を図っていく。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	市民・事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観形成に関する市民の意識啓発</li> <li>景観形成に関わる団体との協働</li> </ul>

## 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観計画に関すること</li> <li>景観形成の啓発</li> <li>市景観条例及び県景観条例の届出</li> <li>吉和地域景観協議会への活動補助金の交付                      (構成) 吉和地域住民、事業者など                      (活動内容) 国道186号、488号、県道吉和戸河内線へのスイセンの植付、花壇等の維持管理、除草                      (方向性) 吉和地域の景観形成の一翼を担う活動であり、今後も支援していく。(当協議会の自主財源の確保が課題)</li> </ul>						
	<p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋外広告物申請手数料 51,790 円</li> <li>過疎地域自立促進特別事業債 1,600,000 円 (吉和地域景観協議会への活動費補助へ充当)</li> </ul> <p>計 1,651,790 円</p> <p>【歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用料及び賃借料(高速利用ETC) 5,950 円</li> <li>旅費(費用弁償、景観会議幹事会、研修会) 15,840 円</li> <li>広島県景観会議負担金 30,000 円</li> <li>吉和地域景観協議会への活動費補助 1,600,000 円</li> </ul> <p>計 1,651,790 円</p>						
コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
	財源内訳	直接事業費 A	1,630,000	1,651,790			
		国庫支出金					
		県支出金					
		借入金(市債)	1,600,000	1,600,000			
		その他(使用料など)	30,000	51,790			
	市(市税など)						
人件費(按分) B	1.00 人 8,772,000	1.00 人 8,486,000					
総事業費(A+B)	10,402,000	10,137,790					
単位コスト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人				
	② 市民1人当たり	88	86				
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	景観に関する意識啓発 (HP、チラシ配付、窓口相談、WS)					数値化困難
	成果	景観条例適合率	%	100	100	100	100
	景観条例届出件数	%	45	50	49	60	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 3 都市景観と自然景観が調和した美しいまちをつくる

担当課名	建設部 都市・建築局 都市計画課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
	目	01	都市計画総務費

事業名	<b>景観形成推進事業</b>	事業開始年度	平成 23 年度
	良好な景観づくりの推進	根拠法令 条例 個別計画等	景観法、廿日市市景観条例、廿日市市景観計画

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、事業者、来訪者	市民が愛着と誇りを感じ、来訪者の心に残る景観形成を推進するため、市民・事業者・市の協働により、「優れた景観の保全」・「多様で個性豊かな景観の活用」・「新たな景観の創出」を行い、それらを「未来につなぎ・さらに育む」、息の長い景観形成の取り組みを展開する。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	市民・事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観重点区域における行為の制限等の検討</li> <li>シンポジウムやワークショップの開催による意識啓発</li> </ul>

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	・景観計画推進事業 本市の景観形成を推進するため、地域の特色を生かした景観づくりや、魅力ある都市景観の形成など良好な景観の創造を図るため、景観形成基準に関するマニュアルの充実や市民の景観に対する意識啓発を目的とした、ワークショップ等、景観施策の実施に向けた検討等を行った。 ・はつかいち景観100選の検討 各地域の特性に配慮した良好な景観形成を推進するため、はつかいち景観100選の選定基準などを検討した。 平成25年度は、沿岸部を対象としたワークショップによる選定基準などの検討にあわせて、市民の景観に対する意識啓発、景観の地域特性の把握を行った。 (一昨年度は佐伯・吉和地域、昨年度は、廿日市・大野地域でワークショップを行い、各地域の特性・配慮すべき点などを集約しつつ、市民の意識啓発を行った。)							
	【歳出】	はつかいち景観100選の検討業務委託料						980,700 円
コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
	財源内訳	直接事業費 A	1,155,000	980,700				
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金(市債)						
		その他(使用料など)						
		市(市税など)	1,155,000	980,700				
	人件費(按分) B	0.30 人 2,631,600	0.30 人 2,545,800					
	総事業費(A+B)	3,786,600	3,526,500					
到達目標	活動	景観セミナー、ワークショップ等開催回数	回	12	16	16	21	H22から累計
		景観セミナー、ワークショップ等参加者数	人	265	300	354	500	H22から累計

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 3 都市景観と自然景観が調和した美しいまちをつくる

担当課名	分権政策部 歴史まちなみ推進室		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
	目	02	文化振興費

事業名	<b>伝統的建造物群保存推進事業</b>	事業開始年度	平成 23 年度
	伝統的建造物群保存地区制度導入の推進	根拠法令 条例 個別計画等	文化財保護法

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	1. 文化財を後世に伝えるため 2. 宮島地域(伝統的建造物が連たんしている地域)の市民のため	1. 厳島神社をはじめとする神社・仏閣等と相まって残っている、文化的価値の高い伝統的な町並みを保存し、後世に継承していく。 2. 市民にとっては、この地域に誇りや愛着を抱き、自然や生活環境の保全と再生を図ることができ、コミュニティの活性化を促すことができる。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	宮島地域の市民、学識経験者、委託業者	保存計画・修理修景基準・所有者への助成制度等の検討。条例制定及び保存地区の決定。伝建制度に関する市民との合意形成。

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容(活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統的建造物群保存地区制度事業説明（戸別訪問）</li> <li>・ 歴史的まちなみ保存研究員報酬等</li> <li>・ 保存地区、保存計画等について指導及び協議</li> </ul>		2,403,684 円	報償費 21,000 円	旅費 101,640 円	役務費 20,000 円																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 24 年度決算</th> <th>平成 25 年度決算①</th> <th>①のうちH24から繰越</th> <th>H25からH26へ繰越</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>直接事業費 A</b></td> <td>2,574,703</td> <td>2,546,324</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  国庫支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  県支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  借入金(市債)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他(使用料など)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  市(市税など)</td> <td>2,574,703</td> <td>2,546,324</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>人件費(按分) B</b></td> <td>2.00 人 17,544,000</td> <td>2.00 人 16,972,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>総事業費(A+B)</b></td> <td>20,118,703</td> <td>19,518,324</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ト換算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>人口(4月1日現在) 118,000 人</td> <td>117,680 人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>市民1人当たり 170</td> <td>166</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	<b>直接事業費 A</b>	2,574,703	2,546,324			財源内訳					国庫支出金					県支出金					借入金(市債)					その他(使用料など)					市(市税など)	2,574,703	2,546,324			<b>人件費(按分) B</b>	2.00 人 17,544,000	2.00 人 16,972,000			<b>総事業費(A+B)</b>	20,118,703	19,518,324			ト換算					①	人口(4月1日現在) 118,000 人	117,680 人			②	市民1人当たり 170	166	
項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越																																																																			
<b>直接事業費 A</b>	2,574,703	2,546,324																																																																					
財源内訳																																																																							
国庫支出金																																																																							
県支出金																																																																							
借入金(市債)																																																																							
その他(使用料など)																																																																							
市(市税など)	2,574,703	2,546,324																																																																					
<b>人件費(按分) B</b>	2.00 人 17,544,000	2.00 人 16,972,000																																																																					
<b>総事業費(A+B)</b>	20,118,703	19,518,324																																																																					
ト換算																																																																							
①	人口(4月1日現在) 118,000 人	117,680 人																																																																					
②	市民1人当たり 170	166																																																																					
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考																																																																
到達目標	活動	伝建制度の確立	—	案の作成	案の作成	—																																																																	
	活動	合意形成のための戸別訪問	棟	400	317	—																																																																	
	成果	伝建条例制定・保存地区決定	—	—	—	地区決定																																																																	
成果	重伝建の選定	—	—	—	—	重伝建の申出																																																																	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	01	農業費
	目	03	農業振興費

事業名	新規農業経営者育成事業	事業開始年度	平成 25 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	第5次総合計画（担い手確保）、廿日市市新規就農者育成事業実施要領

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	新規農業経営者	新規農業経営希望者を対象に研修事業を実施することで地域農業の核となる農業経営者を育成し、地域農業の活性化と地域の特性を活かした産地化を推進する。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
農協	担い手協	補助金交付事務、人材の選考、農地の確保、農業経営の指導等

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規農業経営者研修施設整備事業 <span style="float: right;">15,000,000 円</span>                      新規農業経営希望者を対象とした軟弱野菜の産地化に係る研修事業を実施する団体に対し研修の実施に必要な研修施設等の整備を支援した。                      実施主体：佐伯中央農協                      事業内容：研修用ハウス及び研修に必要な機材等の補助</li> <li>新規農業経営者研修事業 <span style="float: right;">1,000,000 円</span>                      新規農業経営希望者を対象とした研修事業を実施する団体に対し研修の実施に必要な経費を支援した。                      実施主体：佐伯中央農協                      事業内容：農業研修に係る経費の補助</li> </ul>						
	【歳出】						
	新規農業経営者研修施設整備事業補助金 <span style="float: right;">15,000,000 円</span>						
	新規農業経営者研修事業補助金 <span style="float: right;">1,000,000 円</span>						
	コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A		16,000,000		
			国庫支出金				
			県支出金				
			借入金(市債)				
			その他(使用料など)				
市(市税など)			16,000,000				
人件費(按分) B	人	0.11 人	933,460				
総事業費(A+B)			16,933,460				
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
		活動	研修人数	人	8	2	2
成果	本市に就農した人数(年間)	人	4			2	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	01	農業費
	目	03	農業振興費

事業名	担い手経営基盤強化事業	事業開始年度	平成 21 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	新規就農総合支援事業実施要綱 廿日市市農業振興補助金交付要綱 第5次総合計画（農産物の品質向上）

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	認定農業者、農業生産法人、新規就農者	新規就農者の経営・生産技術の指導（担い手支援事業）により、地域農業の担い手となる農業者を育成する。また、人・農地プランの策定支援及びプラン達成のための各種事業（青年就農給付金、農地集積協力金）を実施する。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
担い手協議会 市	—	補助金支払事務（審査、現地確認） 補助金申請事務

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>担い手支援事業補助金 784,156 円 廿日市市地域担い手育成総合支援協議会（構成員：市、農業委員会、農協、県）において、経営力の高い農業者を育成するため、若い農業者に対して、経営・生産技術の指導事業を行い、次世代の本市農業の担い手を育成した。</li> <li>集落法人経営基盤強化事業補助金 3,395,000 円 吉和地域の担い手である農事組合法人よしわが取り組む、売れる米づくりや地産地消（学校給食米）の推進を促し、農業経営の安定に向けて支援した。</li> <li>新規就農総合支援事業（青年就農給付金） 10,500,000 円 新規就農者の就農直後の経営の不安定な時期に給付金を交付することにより、就農後の確実な定着と早期経営安定を図った。</li> <li>農地集積協力金 1,100,000 円 人・農地プランに位置づけられた地域の中心となる担い手に対し、農地集積に協力する農地所有者を支援した。</li> </ul>							
	【歳入】							
	県支出金 農業振興基金繰入金 3,395,000 円 新規就農総合支援事業補助金 10,500,000 円 農地集積加速化支援事業補助金 1,100,000 円							
	【歳出】							
	担い手支援事業補助金 784,156 円 集落法人経営基盤強化事業補助金 3,395,000 円 新規就農総合支援事業（青年就農給付金） 10,500,000 円（7名） 農地集積協力金 1,100,000 円							
	コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
		財源内訳	直接事業費 A	6,626,109	15,779,156			
			国庫支出金					
			県支出金	6,000,000	11,600,000			
			借入金（市債）					
その他(使用料など)				3,395,000				
市（市税など）		626,109	784,156					
人件費(按分) B	0.11 人 964,920	0.11 人 933,460						
総事業費(A+B)	7,591,029	16,712,616						
到達目標	単位	H24 実績値	H25 目標値	H25 実績値	H27 目標値	備考		
	活動	ハウス設置面積	a	0	60	0	60	
成果	活動	新規就農者	人	4	2	3	2	
	成果	軟弱野菜(ほうれんそう等)販売量	t	92	128	77	174	
到達目標	成果	認定農業者数	戸	22	27	24	31	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課		
予算科目	会計	1	一般会計
	款	5	農林水産業費
	項	1	農業費
目		3	農業振興費

事業名	農業基盤施設整備事業	事業開始年度	平成 * 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市農業振興補助金交付要綱 第5次総合計画（農業生産体制の強化）

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	農家、認定農業者、農業生産法人	農業の生産性向上、野菜産地化を図るための生産施設・機械等の導入に係る支援を行う。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
認定農業者、農協	—	補助金支払事務（審査、現地確認） 補助金申請事務

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型ハウス等設置事業補助金 200,000 円 野菜産地化推進のため、大型ハウスの施設整備に係る費用の一部を補助した。 補助額：1棟につき事業費の1/2以内で200,000円限度、雨よけ施設100,000円限度</li> <li>園芸産地拡大事業補助金 1,948,000 円 認定農業者の規模拡大などにおける施設・機械等の導入（農協リース事業）に係る費用の一部を補助した。 補助額：事業費の1/6以内</li> </ul>
	<p>農協リース事業の流れ</p> <pre> graph LR     City((市)) -- "1/6補助" --&gt; FarmAssoc((農協))     FarmAssoc -- "資機材購入" --&gt; Equip((資機材))     FarmAssoc &lt;--&gt;  "補助残でリース契約"  Producers((生産者))     </pre>
【歳出】	大型ハウス等設置事業補助金 200,000 円 園芸産地拡大事業補助金 1,948,000 円

コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
	財源内訳	直接事業費 A	1,566,000	2,148,000	
国庫支出金					
県支出金					
借入金(市債)					
その他(使用料など)					
市(市税など)		1,566,000	2,148,000		
ト換算	人件費(按分) B	0.11 人 964,920	0.11 人 933,460		
	総事業費(A+B)	2,530,920	3,081,460		
	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人		
	② 市民1人当たり	21	26		

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	大型ハウスの設置数	棟	6	5	4	5
成果	軟弱野菜(ほうれんそう等)販売量	t	92	128	77	174	
	認定農業者数	戸	22	27	24	31	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	建設部 施設整備課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	01	農業費
	目	06	農地改良費

事業名	<b>小規模農業基盤整備事業</b>	事業開始年度	平成 ※ 年度
	生産基盤の強化（農道・農業用水路の整備）	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	農業従事者	農道・水路の整備の実施により、農作業労力の軽減を図るとともに、農地への安定した水量の確保を図る。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	受益者	<ul style="list-style-type: none"> <li>測量設計調査業務及び工事監督業務</li> <li>用地交渉業務</li> </ul>

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	○農道、水路の整備 農道2路線、農業用水路・ため池4箇所 の改良工事と、農道2路線、農業用水路・ため池2箇所 の測量・設計を行った。							
	・事業費関連							
	【歳入】							
	・地域の元気臨時交付金		14,200,000 円					
	・小規模農業基盤整備事業債		6,300,000 円					
	・小規模農業基盤整備事業分担金		280,125 円					
	【歳出】							
	・農道測量設計業務委託料		9,088,800 円					
	・水路測量設計業務委託料		1,455,300 円					
	・農道上畑口線改良工事		5,250,000 円					
・農道下川末線改良工事		3,927,000 円						
・水路改良工事								
道秀原地区		987,000 円						
浅原地区		1,601,250 円						
宮内水路		2,403,450 円						
河野原ため池		3,586,800 円						
・広島県土地改良事業団体連合会特別負担金		917,700 円						
・事務費（消耗品費外）		94,171 円						
コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
	直接事業費 A		18,866,971	29,311,471				
	財源内訳	国庫支出金		14,200,000				
		県支出金	2,230,000					
		借入金（市債）	7,900,000	6,300,000				
		その他(使用料など)	701,820	280,125				
		市（市税など）	8,035,151	8,531,346				
	人件費(按分) B		0.72 人 6,315,840	0.70 人 5,940,200				
	総事業費(A+B)		25,182,811	35,251,671				
	ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人				
② 市民1人当たり		213	300					
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	農道の整備	m	636	756	661	851	全体延長 L=1,141m
		農業用水路改良	箇所	3	3	5	3	
	成果	計画路線の整備率	%	59.7	66.3	62.0	79.8	
		経営耕地総面積	ha	419.3	419.3	419.3	419.3	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	01	農業費
目		03	農業振興費

事業名	耕作放棄地対策事業	事業開始年度	平成 23 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	農地法 廿日市市農業振興補助金交付要綱 第5次総合計画(農業生産体制の強化)

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農希望者</li> <li>規模拡大希望農業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地が有効に利用され、経営基盤が強化される</li> </ul>

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
地域担い手育成総合支援協議会	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の交付</li> <li>農地情報の提供</li> <li>協議会への参画</li> </ul>

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業内容 農用地区域以外の地域（国庫補助対象とならない地域）において耕作放棄地対策を行う農業者（新規就農希望者、経営規模拡大希望農業者）に対して、地域担い手育成総合支援協議会を通じて農地再生費用の一部を補助した。</li> <li>背景 耕作放棄地が拡大し、農地の持つ多面的機能の低下が懸念されており、耕作放棄地対策が喫緊の課題となっている。一方で耕作放棄地は農地として借りやすく、一定の面積が確保でき、営農面積が必要な新規就農希望者にとっては営農開始の候補地となる。</li> </ul>							
	【歳出】 耕作放棄地対策事業補助金（35.7a） 178,735円（農地再生面積10aあたり5万円）							
コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
	財源内訳	直接事業費 A	888,630	178,735				
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金(市債)						
		その他(使用料など)						
		市(市税など)	888,630	178,735				
	人件費(按分) B	0.11 人 964,920	0.11 人 933,460					
	総事業費(A+B)	1,853,550	1,112,195					
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考	
		活動	耕作放棄地解消面積	ha	3	5	5	9
	成果	認定農業者数	戸	22	27	24	31	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	03	水産業費
	目	02	水産業振興費

事業名	<b>水産業振興事業</b>	事業開始年度	平成 21 年度
	漁業経営強化対策の推進	根拠法令 条例 個別計画等	水産基本法

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	海面漁業者	収益力の高い漁業経営を実現し、活力ある産地づくりを図る。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
廿日市市水産振興協議会	市	漁業経営の強化を図るための活動への支出及び連絡調整

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	・漁業経営強化対策事業補助金の交付 廿日市市水産振興協議会が実施する、かき・あさりのブランド化の推進や漁業経営の高度化（収益力強化）等の取組みを支援し、生産意欲を向上させて、漁業の活性化を図るとともに、漁業経営の強化に資した。また、市内漁業協同組合の連携を強化し、共同事業体制の構築を図った。 かき産地強化対策（取組件数 4 件） あさり産地強化対策（取組件数 1 件） 漁業経営強化対策（取組件数 1 件） あさり漁業被害対策（取組件数 3 件） ・事業費関連 【歳出】 漁業経営強化対策事業補助金 3,785,869円							
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A	2,000,000	3,785,869			
			国庫支出金					
			県支出金					
			借入金(市債)					
			その他(使用料など)					
			市(市税など)	2,000,000	3,785,869			
			人件費(按分) B	0.25 人 2,193,000	0.25 人 2,121,500			
			総事業費(A+B)	4,193,000	5,907,369			
ト換算		①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
	②	市民1人当たり	36	50				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	漁業経営強化対策の取組件数	件	8	10	9	10	
	成果	漁業生産額	百万円	統計集計待ち	2,300	統計集計待ち	2,350	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	03	水産業費
	目	02	水産業振興費

事業名	<b>漁場整備事業</b>	事業開始年度	平成 25 年度
	漁場整備の推進	根拠法令 条例 個別計画等	漁港漁場整備法

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	海面漁業者	水産資源の持続的かつ安定的な利用を図るために、漁場の整備を行う。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	漁業協同組合	調査設計の委託、整備工事の実施、許認可の取得

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁場整備調査設計業務の委託 漁場整備を実施するための調査設計を実施した。 対象地域：大野瀬戸</li> <li>・梅原一丁目地先漁場整備工事 施行箇所：大野瀬戸</li> <li>・事業費関連</li> </ul>							
	【歳入】							
	地域の元気臨時交付金		7,000,000 円					
	水域環境保全創造事業補助金		38,978,000 円					
	漁場整備事業債（公共事業等債）		20,900,000 円					
	【歳出】							
	漁場整備調査設計業務委託料		7,099,050 円					
	あさり漁場造成に伴う調査設計業務委託料		29,636,250 円					
	梅原一丁目地先漁場整備工事		30,331,350 円					
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
財源内訳		直接事業費 A		67,066,650	59,967,600	71,000,000		
		国庫支出金		45,978,000	38,978,000	26,000,000		
		県支出金						
		借入金（市債）		20,900,000	20,900,000	42,700,000		
		その他(使用料など)						
市（市税など）			188,650	89,600	2,300,000			
		人件費(按分) B	人	0.13 人	/			
			1,103,180					
	総事業費(A+B)		68,169,830					
	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人					
	② 市民1人当たり		579					
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	漁場整備面積	ha		-	-	2	
	成果	あさり生産量の増加	t		-	-	5	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	03	水産業費
	目	02	水産業振興費

事業名	<b>漁船巻揚施設維持管理事業</b>	事業開始年度	昭和 54 年度
	漁船等巻揚施設整備の推進	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市漁船等巻揚施設設置 及び管理条例

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	漁船等所有者	漁船等の安全な操業と維持管理を図るための施設の整備を行う。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	漁業協同組合	整備工事の実施、各種許認可の取得

### 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	・宮島漁船等巻揚施設改良工事の実施 ウインチ取替 1台 ウインチ小屋改修 一式  ・事業費関連 【歳入】 漁港施設整備事業債(過疎対策事業債) 10,100,000円  【歳出】 宮島漁船等巻揚施設改良工事 10,101,000円		

コスト情報(円)	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
	直接事業費 A	21,301,350	10,101,000			
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		借入金(市債)	20,200,000	10,100,000		
		その他(使用料など)				
		市(市税など)	1,101,350	1,000		
	人件費(按分) B	0.16 人 1,403,520	0.07 人 594,020			
総事業費(A+B)	22,704,870	10,695,020				
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
	② 市民1人当たり	192	91			

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24 実績値	H25 目標値	H25 実績値	H27 目標値	備考
	活動	実施設計図書の完成	式	-	-	-	-
	成果	整備工事の完成	式	-	1	1	3
		災害発生件数	件				

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	03	水産業費
	目	02	水産業振興費

事業名	<b>漁港整備事業負担金</b>	事業開始年度	昭和 36 年度
	第2種漁港整備の推進	根拠法令 条例 個別計画等	広島県建設事業負担金条例

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	漁港利用者 漁港地区居住者	県の管理する第2種漁港における安全で効率的な漁業活動を確保するとともに、高潮・台風等による災害から背後地の生命・財産等の防護を図る。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
広島県	市	事業調整及び負担金の納付

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩屋漁港整備事業に対する負担金 水産物供給基盤機能保全事業 20,379,750円×2/10=4,075,950円</li> <li>地御前漁港海岸整備事業に対する負担金 海岸堤防等老朽化対策緊急事業 57,020,000円×1/10=5,702,000円</li> <li>事業費関連</li> </ul>							
	【歳入】		漁港施設整備事業債（合併特例事業債） 9,300,000円		【歳出】		塩屋漁港整備事業負担金 4,075,950円	
							地御前漁港海岸整備事業負担金 5,702,000円	
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越		H25からH26へ繰越
		直接事業費 A		17,200,000	9,777,950			10,400,000
		財源内訳	国庫支出金					
			県支出金					
			借入金（市債）	16,300,000	9,300,000			9,800,000
			その他(使用料など)					
			市（市税など）	900,000	477,950			600,000
人件費(按分) B		0.08 人 701,760	0.08 人 678,880					
総事業費(A+B)		17,901,760	10,456,830					
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考	
		活動	負担金支出	千円	17,200	30,940	9,777	43,000
	成果	利用漁船隻数	隻	295	291	統計集計待ち	291	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに  
 重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	05	農林水産業費
	項	03	水産業費
	目	02	水産業振興費

事業名	<b>漁港整備事業</b>	事業開始年度	平成 24 年度
	第1種漁港整備の推進	根拠法令 条例 個別計画等	漁港漁場整備法

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	漁港利用者 漁港地区居住者	市の管理する第1種漁港において、漁港施設の老朽化診断のもと、機能保全計画を策定して、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化・縮減を図る。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	漁業協同組合	業務委託の発注、補助金申請事務、漁港利用者との事業調整、機能保全計画の策定、実施設計及び保全工事の実施

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	・水産物供給基盤機能保全事業の実施 機能保全計画の作成 対象漁港 上ノ浜・梅原漁港 調査設計業務の委託 対象漁港 丸石漁港  ・事業費関連 【歳入】 地域水産物供給基盤整備事業補助金 5,000,000円 漁港整備事業債（合併特例事業債） 9,700,000円  【歳出】 上ノ浜・梅原漁港機能保全計画作成業務委託料 10,000,000円 丸石漁港機能保全調査設計業務委託料 5,357,100円						
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
		財源内訳	直接事業費 A	9,999,150	15,357,100	10,000,000	
			国庫支出金				
			県支出金	4,999,000	5,000,000	5,000,000	
			借入金（市債）	4,700,000	9,700,000	4,700,000	
			その他(使用料など)				
		市（市税など）	300,150	657,100	300,000		
		人件費(按分) B	0.24 人 2,105,280	0.31 人 2,630,660	/		
		総事業費(A+B)	12,104,430	17,987,760			
ト換算 単位コスト		① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
	市民1人当たり	103	153				
	② 漁港地区人口	2,140 人	2,122 人				
人口1人当たり	5,656	8,477					
到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	機能保全計画の策定数	港	1	3	3	3
	成果	保全工事の実施数	港				3

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 1 「宮島」のおもてなしをより高める

担当課名	環境産業部 観光課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
目		03	観光費

事業名	<b>観光おもてなし向上事業</b>	事業開始年度	平成 25 年度
	おもてなしの宮島づくりの推進 (宮島おもてなし強化事業)	根拠法令 条例 個別計画等	—

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	国内観光客 497万人 外国人観光客 10万人	○大型観光キャンペーン事業等により、多くの観光客が来訪する宮島での「おもてなし」の受け入れ態勢が強化される。 ○好印象を与えることでリピーターが増加する。 ○地域の観光関連産業や雇用への波及効果が生じる。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	宮島の観光関係団体	○事業の効果的な実施のための委託先の選定 ○地域の観光関係団体との事業調整の支援(委託事業支援)

## 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	○宮島おもてなし強化事業 各種大型観光キャンペーンの実施により、平成25年度も宮島への来訪者が多くなることが予測されされたため、おもてなしの強化を図ることを目的に次の2つの事業を行った。							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮島おもてなし隊 (H25.6~H25.9) 4名雇用 平安装束を身にまとった「宮島おもてなし隊」が、宮島を訪れる観光客に対し島内の観光案内、写真撮影の補助等を行った(広島県デスティネーションキャンペーン期間中に実施)。</li> <li>体験観光の推進 (H25.4~H26.3) 2名雇用 伝統産業や自然探索等の「体験観光」の紹介や企画実施。</li> </ul>							
	【歳入】	広島県緊急雇用対策基金事業補助金	11,395,834	円				
	【歳出】	宮島おもてなし強化事業委託料	11,395,834	円				
	コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A			11,395,834		
			国庫支出金					
			県支出金			11,395,834		
			借入金(市債)					
			その他(使用料など)					
市(市税など)								
人件費(按分) B			0.80 人 6,788,800	/				
総事業費(A+B)			18,184,634					
ト換算	①	人口(4月1日現在)	118,000 人				117,680 人	
	②	市民1人当たり					155	
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	来訪者へのおもてなし対応		—	—	—	—	数値化不可
		体験観光の企画実施	参加数	419	500	1,361		
	成果	宮島地域の総観光客数	万人	488	360	497	330	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 1 「宮島」のおもてなしをより高める

担当課名	環境産業部 観光課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
	目	03	観光費

事業名	<b>観光おもてなし向上事業</b>	事業開始年度	平成 25 年度
	「宮島のおもてなし」のブランディング ※宮島のおもてなしクオリティの向上	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	国内観光客 497万人 外国人観光客 10万人 島内住民 1,767人 ※数値H25	○宮島ならではの「おもてなし」の概念について、地域が共通の認識を持ち自ら実践できるようになる。 ○おもてなしの向上が図られ宮島へのリピーター客が増加する。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	宮島観光協会 地域団体など	○宮島のおもてなし概念形成のための観光事業者等に対する側面支援(検討の場作り) ○おもてなしに関する実践事業の実施

### 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	○宮島観光おもてなしコンセプトの形成及び宮島観光事業者優良おもてなし事業 (H25新規：県補助事業)							
	宮島におけるおもてなし向上によりリピーターの増加を図るため、おもてなしをテーマとしたワークショップを実施するとともに、観光客からのアンケート調査をもとに優良おもてなし事例をとりまとめ啓発を行った。							
	【歳入】	広島県おもてなし向上活動支援事業補助金	2,986,725	円				
	【歳出】	廿日市市観光振興基本計画策定等業務委託料	5,973,450	円				
コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
	財源内訳	直接事業費 A		5,973,450				
		国庫支出金						
		県支出金		2,986,725				
		借入金(市債)						
		その他(使用料など)						
		市(市税など)		2,986,725				
	人件費(按分) B		0.40 人 3,394,400					
	総事業費(A+B)		9,367,850					
単位コスト	①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人				
	②	市民1人当たり		80				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	地域でのワークショップ開催	回	—	3	3	—	
	成果	宮島地域の総観光客数	万人	488	360	497	330	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 1 「宮島」のおもてなしをより高める

担当課名	建設部 都市・建築局 都市計画課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
	目	01	都市計画総務費

事業名	市街地整備関連調査事業	事業開始年度	平成 24 年度
	観光案内版などデザイン統一化検討	根拠法令 条例 個別計画等	・廿日市市観光まちづくり懇話会報告書 観光地宮島のグレードアップ施策（H18年）

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、来訪者	年間観光客数300万人を安定的に維持しながら、リピーターの増加と滞在時間の延長をめざすという目標の実現に向けて、宮島観光のグレードアップを図っていく“おもてなし”のひとつとして、景観に配慮した歩行ルート、サイン施設や誘導システムの整備などのインフォメーション機能の充実を図る。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	観光協会、商工会等	・道路案内サインや歩行者案内サインなど公共サインの景観形成を図るため連続性・統一性を確保し、利用者・観光来訪者の円滑な移動を支援する。

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮島地域サイン計画策定業務 宮島において、多種多様なサインが混在し、扱っている情報や盤面の表示に一貫性、統一性がなく、また、周辺の景観と調和していないといった課題を解消するため、自然や歴史的・文化的景観に配慮し、観光客をはじめ全ての人が目的地への移動を安全かつ円滑にでき、景観とも調和しユニバーサルデザインを意識したサインの設置指針を策定した。</li> <li>・都市サイン修正工事 既設置の案内サインについて、経年による劣化等を踏まえ、計画的に地図情報の修正工事を行った。平成25年度は、次の3箇所、5面について実施した。 広電阿品東駅（2面）、広電J A 広島病院前駅（2面）、峰高公園（1面）</li> <li>・事業費関連 【歳入】 過疎地域自立促進特別事業債 2,300,000円 （起債充当事業：宮島地域サイン計画策定業務委託 2,310,000円） 【歳出】 宮島地域サイン計画策定業務委託 2,310,000円 都市サイン修正工事 774,900円</li> </ul>							
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A	2,887,500	3,084,900			
			国庫支出金					
			県支出金					
			借入金(市債)	1,800,000	2,300,000			
			その他(使用料など)					
			市(市税など)	1,087,500	784,900			
			人件費(按分) B	0.20 人 1,754,400	0.20 人 1,697,200			
			総事業費(A+B)	4,641,900	4,782,100			
ト換算		①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
	②	市民1人当たり	39	41				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	宮島地域サイン計画策定		100	100	100	-	H25で完了
		宮島地域サイン計画によるインフォメーション機能の充実			-	-	-	数値化困難
成果								

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人を訪れるまちに  
 重点的取組 1 「宮島」のおもてなしをより高める

担当課名	建設部 建設総務課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	03	河川費
	目	02	海岸保全費

事業名	<b>港湾施設整備負担金</b>	事業開始年度	平成 22 年度
	港湾施設整備負担金	根拠法令 条例 個別計画等	広島県建設事業負担金条例

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	港湾施設の利用者	港湾施設の利便性が向上する。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
広島県	市	広島県の事業の円滑な推進のため、地元調整などの事業調整

### 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	広島県が施行する港湾施設整備事業に伴う負担金  ・事業費関連 【歳入】 ○港湾施設整備事業債 76,400,000 円 (過疎対策事業債 46,900,000円、公共事業等債 29,500,000円)  【歳出】 ○厳島港3号栈橋改良 16,961,670 円 67,846,680円×1/4 ○ビジターバース整備(宮島) 22,500,253 円 70,374,350円×1/4+ 14,720,000円×1/3  《平成24年度繰越》 ○厳島港3号栈橋改良 30,026,375 円 120,105,500円×1/4 ○ビジターバース整備(宮島) 10,387,000 円 41,548,000円×1/4							
	コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
財源内訳		直接事業費 A	85,857,690	79,875,298	40,413,375	12,406,000		
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金(市債)	85,600,000	76,400,000	39,300,000	11,200,000		
		その他(使用料など)						
		市(市税など)	257,690	3,475,298	1,113,375	1,206,000		
		人件費(按分) B	0.20 人 1,754,400	0.20 人 1,697,200				
		総事業費(A+B)	87,612,090	81,572,498				
単 位 換 算 コ ス ト		①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人			
		市民1人当たり	742	693				
目 的 達 成 度	活動及び成果指標		単位	H24 実績値	H25 目標値	H25 実績値	H27 目標値	備考
	活動	事業進捗率	%	80			—	広島県と調整中
	成果	利便性の向上	%	H26工事完成年度(供用開始)・100%				

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 1 「宮島」のおもてなしをより高める

担当課名	建設部 建設総務課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	03	河川費
	目	02	海岸保全費

事業名	<b>港湾施設整備負担金</b>	事業開始年度	平成 22 年度
	港湾施設整備負担金（宮島口の港湾整備）	根拠法令 条例 個別計画等	広島県建設事業負担金条例

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	港湾施設の利用者	港湾施設の利便性が向上する。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
広島県	市	広島県の事業の円滑な推進のため、地元調整などの事業調整

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	広島県が施行する港湾施設整備事業に伴う負担金  ・事業費関連 【歳入】 ○港湾施設整備事業債(合併特例債) 73,500,000 円  【歳出】 ○宮島口港湾整備 62,073,552 円 236,599,410円×1/4+ 8,771,100円×1/3  《平成24年度繰越》 ○宮島口港湾整備 15,271,000 円 61,084,000円×1/4							
	コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越	
財源内訳		直接事業費 A	4,729,462	77,344,552	15,271,000	152,500,000		
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金(市債)	4,400,000	73,500,000	14,500,000	144,800,000		
		その他(使用料など)						
		市(市税など)	329,462	3,844,552	771,000	7,700,000		
		人件費(按分) B	0.20 人 1,754,400	0.20 人 1,697,200				
		総事業費(A+B)	6,483,862	79,041,752				
単位コスト ト換算		① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人				
	市民1人当たり	55	672					
	②	0	0					
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24 実績値	H25 目標値	H25 実績値	H27 目標値	備考
	活動	事業進捗率	%					広島県と調整中
	成果	利便性の向上	%		H31 工事完成年度(供用開始)	・100%		

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 1 「宮島」のおもてなしをより高める

担当課名	建設部 宮島口みなとまちづくり推進課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
	目	01	都市計画総務費

事業名	<b>宮島口地区整備事業</b>	事業開始年度	平成 19 年度
	宮島口栈橋周辺の整備促進	根拠法令 条例 個別計画等	宮島口みなとづくり整備計画

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮島観光客</li> <li>宮島口施設の利用者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮島観光において、ターミナルなどの施設を快適に利用できるようにする。</li> <li>渋滞を緩和させることで、観光客へのおもてなしや、地区住民の生活環境を向上させる。</li> </ul>

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	国土交通省、広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮島口地区環境整備に伴う、関係機関や地元との調整</li> <li>事業の推進に伴う進行管理</li> </ul>

## 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	宮島地区の環境整備のため、整備方針や道路等の検討を行う。							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業費関連</li> </ul>							
コスト情報（円）	【歳出】							
		○宮島地区整備手法検討等業務	4,406,850 円					
		○宮島口市営駐車場整備検討業務	4,632,600 円					
		○宮島口地区周辺渋滞対策業務	19,520,550 円					
		○事務費（旅費）	22,740 円					
コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
	財源内訳	直接事業費 A	37,333,070	28,582,740		16,400,000		
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金（市債）	200,000					
		その他(使用料など)						
		市（市税など）	37,133,070	28,582,740		16,400,000		
		人件費(按分) B	1.50 人 13,158,000	2.50 人 21,215,000				
	総事業費(A+B)	50,491,070	49,797,740					
到達目標	活動	誘導案内日数	日	25	23	23	22	
		成果	宮島来島者数	万人	404	360	408	400

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 2 国内外への情報発信を強化する

担当課名	環境産業部 観光課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
目		03	観光費

事業名	<b>観光誘客強化事業</b> 誘致活動の展開（インバウンド企画事業） ※インバウンド・訪日外国人旅行者	事業開始年度	平成 * 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	外国人観光客10(10)万人 ※数値H25(H24)	○本市を訪れる訪日外国人旅行者が増加する（宿泊数・滞在時間の延長）。 ○外国の旅行事業者が本市を対象とした旅行商品を造成する。 ○世界遺産の知名度を生かした海外への情報発信ができる。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	国・県・県外市町 モンサンミッシェル (独)国際観光振興機構	○海外の観光事業関係者の招聘とその対応 ○訪日旅行促進事業(VJ事業)等での現地プロモーション ○モンサンミッシェルとの交流事業

### 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	○宮島公式サイト多言語版運営事業 平成24年度に修正した多言語版サイトの随時更新(翻訳)を行うことで、海外への情報発信を強化した。 【歳出】 宮島公式サイト多言語版運営業務委託料 80,535 円	
	○訪日旅行促進事業の県協議会への負担金 外国人旅行者増加のための活動組織へ事業負担金を支出。(一般分300千円、倉敷インバウンド誘致分50千円) 【歳出】 広島県国際観光テーマ地区推進協議会負担金 350,000 円	
	○訪日旅行促進事業(VJ事業)※VJ:ビジットジャパン 外国人旅行者誘致を目的に、国、県及び(独)国際観光振興機構(JNTO)等と連携して、本市の魅力あふれる観光資源や地域産業の情報発信を行った。なお、平成25年度も本市への来訪客が多いフランスを対象に取り組んだ。 【歳出】 フランス・インバウンド誘客事業負担金 450,000 円	
	○海外人気ガイドブックを活用したプロモーション(H25新規) 海外人気ガイドブックを活用したプロモーションにより、海外からの誘客を促進した。なお、本事業は、広島県などの関係自治体と民間事業者が協同で実施するため、その事業の一部を負担した。 【歳出】 海外人気ガイドブックを活用したプロモーション負担金 2,000,000 円	

コスト情報(円)	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
	財源内訳	直接事業費 A	2,735,960	2,880,535	
国庫支出金					
県支出金					
借入金(市債)					
その他(使用料など)					
	市(市税など)	2,735,960	2,880,535		
	人件費(按分) B	0.60 人 5,263,200	0.30 人 2,545,800		
	総事業費(A+B)	7,999,160	5,426,335		
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人		
	② 市民1人当たり	68	46		

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	外国人観光客誘致活動※随時活動		—	—	—	—
活動	海外現地誘客活動		1			3	数値化不可
成果	宮島地域の外国人観光客数	万人	10	11	10	15	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 2 国内外への情報発信を強化する

担当課名	環境産業部 観光課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
目		03	観光費

事業名	<b>観光誘客強化事業</b>	事業開始年度	平成 25 年度
	誘致活動の展開（連携・協働による誘致強化事業） ※広島県デスティネーションキャンペーン関連事業	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	○国内外からの観光客誘致 ○戦略的誘客商品の設定 ○関係団体との連携強化	○関係団体との連携により効果的な誘客活動を実施し観光客数が増加する。 ○事業を契機とした新たな観光資源の提供が事業者の努力により可能となる。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
県・周辺市町・県 観連・JRなど	—	○負担金の交付及び業務委託 ○地元を含む関係団体等との調整 ○プロモーション活動

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	○広島湾宝しまクルーズの運行事業(H25新規)	
	平成25年7月～9月に実施された広島県デスティネーションキャンペーン期間中の土日に、瀬戸内海の魅力をアピールすることを目的とした宮島港、宇品港、呉港などを結ぶクルーズ船の運航を行った。  【歳出】 広島ベイエリア周遊観光推進協議会事業負担金 614,000 円	

コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
	財源内訳	直接事業費 A		614,000	
国庫支出金					
県支出金					
借入金(市債)					
その他(使用料など)					
	市(市税など)		614,000		
	人件費(按分) B		0.30 人 2,545,800		
	総事業費(A+B)		3,159,800		
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人		
	② 市民1人当たり		27		

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	関係団体との連携及び支援			—		—
成果	本市の総観光客数	万人	729	570	742	600	
	宮島地域の総観光客数	万人	488	360	497	330	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 3 観光資源をネットワーク化する

担当課名		環境産業部 観光課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
目		03	観光費

事業名	<b>観光資源ネットワーク化事業</b>	事業開始年度	平成 25 年度
	廿日市市エコ&グリーンツーリズム推進事業	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	○国内外からの観光客	○宮島の弥山を中心とした貴重な自然や、中山間地域の豊かな自然等を魅力ある観光資源として観光客に提供できる。 ○体験型観光としてブラッシュアップすることで、滞在時間延長や宿泊増加につながる。 ○専門のガイド等によるツアーの質の向上により観光客の満足度が高まる。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	地域の観光関係団体 NPO法人 など	○事業の効果的な実施のための委託先の選定 ○地域の観光関係団体との事業調整の支援(委託事業支援)

### 3 平成 25 年度 決算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	○廿日市市エコ&グリーンツーリズム推進事業							
	宮島の弥山等と本市の中山間地域の自然等を生かしたツアー造成のために、実証事業や専門知識を有するガイドの養成を行うとともに、本市のエコツーリズムとグリーンツーリズムを推進するための、自然に関する観光資源のアクションプランを策定した。 ・弥山等宮島の事業推進 H25.6~H26.3 5名雇用 弥山を中心とする宮島のエコツーリズムを普及するため、実証事業やガイド養成、マップ及びHPの制作等を行った。 ・中山間自然体験事業の推進 H25.6~H26.3 2名雇用 平成24年度の吉和自然体験指導員養成事業を引き続き実施するとともに、実証事業を行った。また、アルカディア・ビレッジや岩倉ファームパーク等の資源の掘り起こしを行った。 【歳入】 広島県緊急雇用対策基金事業補助金 15,996,319 円 【歳出】 廿日市市エコ&グリーンツーリズム推進事業委託料 15,996,319 円							
コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
	財源内訳	直接事業費 A			15,996,319			
		国庫支出金						
		県支出金			15,996,319			
		借入金(市債)						
		その他(使用料など)						
	市(市税など)							
人件費(按分) B			0.80 人	6,788,800				
総事業費(A+B)				22,785,119				
単位換算	①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人				
	②	市民1人当たり		194				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動成果	実証事業の実施	回	—	6	32	—	
		ガイド等の養成人数	人		10	3	—	
		市の総観客数	万人	729	570	742	600	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 3 観光資源をネットワーク化する

担当課名	環境産業部 観光課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
目		03	観光費

事業名	<b>観光資源ネットワーク化事業</b>	事業開始年度	平成 25 年度
	観光振興基本計画策定	根拠法令 条例 個別計画等	-

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	国内外からの観光客 市民	○本市に世界遺産「宮島」を中心として、多くの人が訪れるようになる。 ○戦略的かつ効果的な観光政策を体系的に推進することで、地域の活性化や雇用の拡大など地域への波及効果が生じる。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	観光関係団体 市民	○本市の観光政策に関する情報収集、現状把握、分析 ○策定のための会議等の設置と運営 ○基本計画策定とその計画を推進する体制の構築

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	○廿日市市観光振興基本計画策定（H25新規） 本市の観光振興における今後10年間の基本方針を策定するため、各地域での意見収集や策定委員会による検討などを行った。なお、策定期間は平成25年度から平成26年度の二か年。							
	【歳出】 会議報償費（学識） 42,000 円 費用弁償（学識・県内） 1,200 円 費用弁償（学識・県外） 70,160 円 特別旅費（県外） 46,280 円 計画策定業務委託料 2,917,110 円							
コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越		
	財源内訳	直接事業費 A			3,076,750			
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金（市債）						
		その他(使用料など)						
		市（市税など）			3,076,750			
	人件費(按分) B			0.90 人 7,637,400				
	総事業費(A+B)			10,714,150				
ト換算	①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人				
	②	市民1人当たり		91				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	会議開催		-		3	-	
	成果	市の総観光客数	万人	729	570	742	600	

# 平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに  
 重点的取組 3 観光資源をネットワーク化する

担当課名	環境産業部 観光課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
目		03	観光費

事業名	<b>観光資源ネットワーク化事業</b>	事業開始年度	平成 25 年度
	滞周遊型観光の推進事業 3 (瀬戸内しま博覧会負担金)	根拠法令 条例 個別計画等	—

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	国内からの観光客	○沿岸部の周辺地域との連携により滞在・回遊型観光の観光客が増加する。 ○広域周遊ルートの形成により滞在型の観光地となる。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
博覧会実行委員会	構成員 広島県・愛媛県ほか	○実行委員会負担金の支出 ○実行委員会での広報宣伝、誘客活動、情報交換及び事業調整 ○観光素材の掘り起こしや観光ルートの企画設定など

### 3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	○瀬戸内しまのわ2014実行委員会負担金（H25新規） 瀬戸内海国立公園指定80周年を記念して、広島県と愛媛県及び両県の沿岸部の市町で構成する協議会により、瀬戸内海の活性化を目的とした博覧会を開催するため、次の負担金を支出した。 大規模に集客を図るメインイベント、各市町等公的な団体が実施する自治体企画イベント及び地域住民グループ、企業等が実施する民間企画イベントを行った。		
	【歳出】	瀬戸内しまのわ2014実行委員会負担金 ※H26年度は840,000円負担予定(二か年で1,388,000円)	548,000 円

コスト情報（円）	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
	財源内訳	直接事業費 A		548,000	
国庫支出金					
県支出金					
借入金(市債)					
その他(使用料など)					
	市(市税など)		548,000		
	人件費(按分) B		0.10 人 848,600		
	総事業費(A+B)		1,396,600		
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人		
	② 市民1人当たり		12		

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	観光客誘客活動		—	—	—	—
成果	宮島地域の総観光客数	万人	488	360	497	330	